

まちの話題

愛

知を食べよう！ 地元の食材で学校給食



県が定める6月19日の「愛知を食べる学校給食の日」にちなみ、市内の小・中学校では地元産の食材を使った共通献立の給食が出されました。6月20日に実施した一色町内の小・中学校では、児童や生徒が温かいご飯の上に「うなぎの照り煮」を載せ、おいしそうに頬張っていました。そのほか、西尾産の抹茶やキュウリなどの野菜、三河産の豚肉、愛知県産の牛乳など、この日の献立は県内の食材尽くし。児童や生徒は皆、自分を取り巻く「食」について、給食を通じておいしく楽しく学んでいました。



ト

トークと歌で楽しいひととき ラジオ番組「FMトワイライト」公開録音

6月28日、1市3町の合併を記念してNHKのラジオ番組「FMトワイライト」の公開録音が文化会館大ホールで行われました。パーソナリティはシンガーソングライターのちいぼーさんとバイオリニストの崎山弥生さん。7月4日放送分のゲストに鳥羽一郎さんを、6日放送分のゲストに松原のぶえさんを迎えての録音でした。鳥羽さんは「兄弟船」「夜風」など、松原さんは「演歌みち」「雪挽歌」など、自身のヒット曲や新曲などをそれぞれ披露。パーソナリティとの軽妙なトークでも会場を沸かせていました。パーソナリティによるギターとバイオリンの演奏も行われ、集まった1,000人を超える観客は、楽しいひとときを過ごしていました。



魔

法の金魚さんがスイスイ ちびっ子科学スクール



7月2日、小学生とその親が参加し、幡豆公民館でちびっ子科学スクールが開かれました。まずは透明の魚型の醤油入れに色付けし、お気に入りの金魚3匹を制作。空気と水、そして重りで金魚の浮力を調整した後、水で満たしたペットボトルに入れ、ふたを閉めて完成。ペットボトルを両手でギュッと押さえると金魚が沈み、手を離すと浮かんでいきます。子どもたちは浮き沈みする「魔法の金魚さん」に目を丸くしていました。



できごと

6/16 ▶▶ 7/15

6/16 岩瀬仁紀投手がセーブ日本最多記録を達成

市のふるさと大使を務める中日ドラゴンズの岩瀬仁紀投手が通算 287 セーブの日本最多記録を達成しました。



6/18 春の叙勲を内閣府が発表

4月29日に発令された春の叙勲受章者が発表されました。市内では地方自治功労の磯村文雄氏（羽塚町／77歳）が旭日双光章を受章しました。



6/18 公演「アラジンと魔法のランプ」を開催

市文化事業による影絵公演「アラジンと魔法のランプ」を文化会館大ホールで開催しました。



6/22 ライトダウンキャンペーンで市役所が一斉消灯



環境省提唱の「昼も夜も。節電ライトダウン2011」により、市役所庁舎の一斉消灯を実施しました。

6/30 市民病院で消防訓練を実施



市民病院で23年度第1回消防訓練を行いました。レスキューシートでの搬送訓練や放水訓練、はしご車を使った救出訓練を実施しました。

7/1 市内4か所の海水浴場が海開き

大浦海水浴場（佐久島）、宮崎海水浴場（吉良町）、恵比寿海水浴場（同）、寺部海水浴場（寺部町）が海開きしました。

7/3 矢作川河川敷で水防訓練

上町地内の矢作川左岸河川敷で水防訓練が行われ、参加者は水防技術の向上を図っていました。



短

冊に願いを込めて 親子で七夕かざりをつくろう！

7月2日、西尾市立図書館で「親子で七夕かざりをつくろう！」が行われました。この催しは、七夕の日を前に親子で触れ合いながら七夕飾りを作ってもらおうと開催されたもの。16組39人の親子が参加し、七夕にちなんだ絵本



「たなばたむかし」の読み聞かせを聞き、その後飾り作りに挑戦しました。折り紙に切り込みを入れ、ちょうちんや編み飾りなど、色鮮やかな飾り付けを作りました。子どもたちは短冊に「野球の選手になりたい」「幼稚園の先生になりたい」「アイス屋さんになりたい」などと願いを書き、思いを込めながら笹に飾り付けていました。

塩

田による塩づくり講座 自分だけの天然塩ができました

7月9日、吉良歴史民俗資料館で「塩田による塩づくり講座」が行われました。



この講座は、昭和28年まで旧幡豆郡3町の沿岸部で行われていた入浜式塩田による塩づくりを、実際に塩田で作業に従事していた経験者の指導のもと体験するもの。参加者は、ビニールシートの上に砂と海水を振りまくところから、大鍋で煮て塩の結晶ができるまでを行いました。

昔の塩づくりの大変さを実感できた本講座。できた塩をなめてみた子どもたちは「しょっぱい」と顔をしかめながらも、自分だけの塩の完成に喜びもひとしおでした。